

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第28回放送の概要 (2011年1月22日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なかちゃん (中嶋邦弘)

コアラさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)
一ノ瀬 悟

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

(CM) JR兵庫駅前の「神戸ルミナスホテル」, 抜群のロケーション、最新の設備と最高のおもてなし、ビジネス、観光の快適な拠点として皆様のお越しをお待ちしております。今日は「神戸ルミナスホテル」様 (TEL:078-511-7700) のご協力を頂きました。

1. オープニング

新長田駅前の1.17追悼行事は500人にもなろうかと思うほど多くの方に手伝って頂きました。保育園から大学生そして一般の方々が手伝ってくれました。昨年は日曜日で多くの方が来られた結果募金が80万円程集まったが、今年は高校生が大声で募金を呼び掛けた結果、昨年を上回る81万円の募金が集まりました。17日は朝10時から準備を始めこの時間から50人以上のボランティアが来てくれました。近所の中学生だけでも午前および午後それぞれ100名が来てくれ新長田駅前が随分若返りました。次回からはこの人たちが主役でやってくれているという実感が昨年よりさらに深まりました。

2. ゲストコーナー: 兵庫高校総合科学類型2班

昨年11月3日に第10回神戸UDフェアにおいてユニバーサルデザイン大賞優秀賞を受賞された兵庫高校総合科学類型2班の生徒さんと矢田部先生にお越し頂きました。男子は物理研究部の松岡さん、柔道部の木原さん、女子は硬式テニス部の森口さん、陸上部の松本さんです。

受賞テーマの「心と心をつなぐユニバーサルなデザインのテーブル」に取り組んだ理由は、区役所の方から長田の町が取り組んでいる祭りなどの色んなことを聞かせてもらい、その中で一番興味を持ったのが「安心したまちづくり」でこのテーマをもっと調べようと思ったのがきっかけである。高齢化社会が進んでいることからノンステップバスなどが増えており、このようなことについて何か出来ないかということからユニバーサルデザインについて取り組んだ。ユニバーサルデザインは高齢者や障害者に対するものと思っていたが、調べていくうちに誰でも使えるということが大切であることを知り、物というより人を助ける心が大事ということを学んだ。調査方法はクラスの友達に困っていることを見たことはないかとか、家族に困ったことがないかといったことを聞いて調べた。駅の改札はすべて右側についているので左利きの人には不便を感じているとか、携帯は発達しているが公衆電話はそうではないとかの意見をもらったが自分たちで解決するのは困難であると考えた。テーブルは食事時の会話の場所であり自然に笑顔になれるのでテーブルを選んだ。

普通のテーブルは横に座ると肘が当たり補助がしづらく、正面に座ると距離があり、やはり補助がしにくい。テーブルの形は楕円形を考え真中でスライドできるようにした。補助が必要な子供などと

一緒に食事をするとき、スライドした部分の出っ張った部分に子供が座り、へこんだところに補助する人が座ることにより子供と一緒に補助する人も食事がしやすくなる。UD フェアを主催した北井さんにどこが良かったのか聞いたところ、着眼点が非常に良かったこと、審査委員長の評価がとても良かったと言っておられた。このデザインは地域の工場にお願いし製作しているところで近々出来上がる予定である。製作費用は頂いた賞金からと考えたが幅が180cmにもなるため賞金では賅えないので先生にお願いしたところ兵庫県から費用を出してもらえることになった。尚この賞は100件以上の一般部門の応募から選ばれたものである。

2学期のテーマについて松岡さんと森口さんにお伺いします。

神戸大学の大学院生が兵庫高校に出向きゼミの取り組んでいる内容について説明があり、その中から松岡さんは「食品中の亜硝酸イオンの検出」というテーマを選んだ。化学が好きで、肉などに含まれる発色剤として使われている亜硝酸ナトリウムの含有量を調べるものである。森口さんは「植生学における生物多様性」というテーマを選び、地球温暖化などで生物多様性が失われてきており医療などに役立つ生物資源が失われてきているためどうすればいいのかを考えるのがテーマの趣旨である。今回は兵庫高校から神戸大学に協力をお願いしたところ快く引き受けて頂いたものである。10人程の大学院生が対応してくれた。生徒も初めて大学院生から説明を聞いたときはなかなか理解できなかったが自分たちも調べわからないところを大学院生に聞くことにより理解が進んだ。2学期の発表会が行われたが難しいテーマを分かりやすく発表していた。その時の大学院生の講評（感想）では発表の仕方、まとめ方がとても素晴らしいとのコメントが多かった。

3学期は松岡さん、森口さんともに2学期のテーマについてグループでは十分説明しきれなかったこと、失敗したことなどをまとめなおして個人で発表する予定である。

矢田部先生からは1学期はまちづくりといことで社会科学、目に見える世界を研究するというテーマを、2学期は自然科学、普段は目に見えない宇宙や素粒子など研究対象にした。1, 2学期は班ごとに分担して発表したが、3学期は個人毎に1, 2学期の発表では十分伝えきれなかったところを工夫し発表することにした。またいくつかの班は英語で発表することにチャレンジしようとしている。2学期のテーマは非常に難しく生徒がついていけるか心配したが柔らかい頭で順応して楽しそうに取り組んでくれたので今後に期待したい。

せっかく素晴らしい総合科学類型に入られたので悔いなく勉強してください。

3. ゆうかり大好きコアラさんの地域瓦版

神戸市立青少年科学博物館で小惑星探査機はやぶさの帰還カプセルの展示が来週まで行われている。31日（月）9時30分～16時30分まで、30日までは19時まで展示されている。来月2月3～6日、春節祭が南京町で1月30日のプレイベントを含め5日間開催されます。

4. 来週のゲスト

来週のゲストは下町や商店街の探訪が大好きな中野千治さんにお越しいただきます。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで：yuukarinikanpai@gmail.com